

キャリア教育部通信

県立水戸飯富特別支援学校
キャリア教育部 第5号
令和7年12月2日(火)発行

中学部のキャリア教育について

中学部のキャリア教育は、「夢や希望を見つけるとともに、その実現に向けて必要な基礎的・基本的なスキルを育てる」ことを目標にしています。

今回は、中学部の「職業・家庭」における取組について紹介します。「職業・家庭」の授業では、自分の夢や希望について考えるとともに、実践的な活動を通して、自ら考えて行動する力を高めて将来の社会生活について必要なスキルを身に付けていきます。

将来の自分の生活について考える

仕事について調べ学習に取り組んだり、進路指導担当教員から高等部を卒業した後の生活について話を聞いたりして、将来の自分の生活について考えています。仕事について調べる中で、身近な生活の中に多様な職業があることを学び、様々な職業によって社会が成り立っていることに気付き、学校で学んだことをどのように生かしていくのかを教師や友達とのやり取りを通して考えています。



今の自分にできること、必要なことは何かを考える

自分が働くために、中学部の段階で身に付けておくことについて考える学習を実施しています。生徒同士で輪になって話し合いをしたり、教師と一緒にタブレット端末の動画やイラストを視聴し、考えたりしながら意見を出し合うことで、「あいさつ」、「返事」、「身だしなみ」、「基本的な生活習慣（早寝・早起きなど）」が大切であることに改めて気が付くことができました。そして、普段の学校生活や作業学習で取り組んでいることが、働く時にも大事であることに気が付くことができました。

中学部3年生は、高等部で取り組んでいる校内作業実習のキットを借りて、現場実習を意識した、より実践的な取組も行っています。外部から依頼のあった仕事では、「正確さ」が求められることに生徒たちは関心をもっていました。「正確さ」が働く責任につながり、仕事のやりがいについて考えていけるように、今後の「職業・家庭」の学習に取り組んでいきたいと考えています。

